



冬の恵みで 寒さを乗り切る

もっとも寒さが厳しい大寒の日は、最も温かい食べ物に幸せを感じる日。脂ののった寒鯖を寒仕込みの味噌と合わせた鯖の味噌煮は、寒気が作るごちそうだ。甘味を増した大根を使ったみぞれ椀で、さらにつらさを堪めよう。

(3)	【材料】	○合わせ出汁 里芋 35.00g 卵 5.00g 小麦粉 1.50g あられ 5.00g 油 3.00g 大根 30.00g 三つ葉 3.00g 蓮根 5.00g 酢 1.00g
(2)	【材料】	○合わせ出汁 水 130.00g 昆布 1.00g 鰹節 3.00g 水菜 20.00g にんじん 5.00g 白胡麻 1.00g ○調味料 水 1.00g 昆布 0.01g 鰹節 0.02g ○調味料 酢 1.00g 薄口醤油 2.00g 本みりん 0.50g

- 【作り方】**
- ① 里芋は蒸してつぶし、食べやすい大きさに丸める。
 - ② 卵と小麦粉を混ぜ合わせる。
 - ③ あられをミキサーにかける。
 - ④ (1) に、(2)、(3) の順で衣をつけて170°Cの油で揚げる。
 - ⑤ 大根はすりおろして水分を切り、三つ葉は2cm幅に切る。
 - ⑥ 蓮根は3mm幅のいちょう切りにして酢水に漬けておき、そのまま酢水で煮る。
 - ⑦ 合わせ出汁と調味料を合わせて煮立てたら、大根、三つ葉と蓮根の順で入れる。
 - ⑧ 配食時、(4) に(7) をかける。

(1)	【材料】	鯖切り身 50.00g しょうが 1.00g 塩 0.30g 片栗粉 1.00g ○出汁 水 25.00g 昆布 0.45g ○調味料 A 砂糖 5.00g 赤味噌 7.00g 酒 4.00g ○調味料 B 酢 0.40g
-----	------	---

- 【作り方】**
- ① わかめは水でもどし食べやすい大きさに切り、水菜は3cmの長さに切り、にんじんは3cmの長さの拍子木切りにする。
 - ② (1) ともやしを茹でる。
 - ③ 白胡麻を煎る。
 - ④ 合わせ出汁と調味料を合わせて火にかけ、冷やす。
 - ⑤ 配食直前に、(3) と(4) を(2) にかける。

満月半月。どちらも それぞれ味わい深い

黄金色の満月を映したようなすりながしの中には、冷たく光る月見団子を思わせる白玉を浮かべて。「芋名月」との別名どおり、獲れ頃の里芋を半月切りにして煮た主菜に、旬の柿を使った白和えを添えて、実りの秋を堪能しよう。



(3)	【材料】	かぼちゃベースト 70.00g 白玉粉 20.00g 水 20.00g 青のり 0.50g ○合わせ出汁 水 90.00g 昆布 0.08g 鰹節 2.00g 鰹節(追い鰹) 0.33g ○調味料 西京白味噌 8.00g
-----	------	--

- 【作り方】**
- ① 合わせ出汁を沸騰させ、西京白味噌を溶いてアグをとる。
 - ② 味をみながら出汁、西京白味噌、追い鰹で調整する。
 - ③ かぼちゃベーストをザルでこし、(2) に溶かす。
 - ④ 白玉粉に水を加えてこね、茹でた白玉を冷水で冷ます。
 - ⑤ (4) を(3) に入れ、青のりをかける。

(2)	【材料】	柿 20.00g 春菊 7.00g しめじ 15.00g 木綿豆腐 40.00g ○出汁 水 5.00g 昆布 0.01g 鰹節 0.11g ○調味料 A 濃口醤油 0.50g 本みりん 0.50g ○調味料 B 砂糖 1.50g 薄口醤油 1.50g 白練り胡麻 1.50g
-----	------	--

- 【作り方】**
- ① 柿を一口大に切る。
 - ② 春菊を塩茹でし、水気を切ってから粗いみじん切りにする。
 - ③ しめじを根元で切ってほぐし、合わせ出汁と調味料Aでさっと煮る。
 - ④ 木綿豆腐をしっかり水切りし、調味料Bを混ぜ合わせてペースト状にする。
 - ⑤ (1)(2)(3)を(4)で和える。

(1)	【材料】	里芋 60.00g 鶏肉(もも) 30.00g にんじん 20.00g さやえんどう 3.00g ○出汁 水 30.00g 鰹節 1.00g ○調味料 砂糖 1.50g 塩 0.30g 薄口醤油 5.00g 本みりん 1.00g 酒 0.50g
-----	------	--

- 【作り方】**
- ① 里芋は厚めの半月切り、にんじんは乱切りにする。
 - ② 鶏肉は角切りにして表面が白くなるように熱湯にさらす。
 - ③ さやえんどうは茹でて1/2の長さに切る。
 - ④ (1)(2)(3)、出汁、調味料を合わせ、1時間ほど炊く。